北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	コマース研究ゼミナールIV	科目コード	1212	単位数	2
担当者名	李　炯直	開講セメスター	第7セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	演習	到達目標	G,H	実務経験	無
ナンバリング	HSe704	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

日本と韓国を含む世界経済について、その現状と今後の展開を理解するために必要な経済理論や社会的背景を学びつつ、受講生同士で考え、議論を深めていくことを目指す。また、その過程を通じて、実際の経済分析への応用力や、現代の世界経済が抱える多様な課題を発見・解決する能力を身につけることを目的とする。

到達目標

①経済学の基本概念を体系的に学び、日本や韓国を含む世界経済の具体的な事例を分析し、経済現象を論理的に説明する力を身につける。
②経済ニュースや政策議論を、経済学の基礎理論に基づいて批判的に読み解く力と姿勢を養う。
③経済学的視点に基づくゼミ形式の討論を通じて、他者の意見を理解し、自分の考えを論理的に述べるコミュニケーション能力を高める。

授業内容

1週目 オリエンテーション及び世界経済の現状に関するディスカッション
2週目 「Present Value: Measuring the Time Value of Money」及び討論
3週目 「Managing Risk」及び討論
4週目 「Asset Valuation」及び討論
5週目 「Identifying Unemployment」及び討論
6週目 「Job Search」及び討論
7週目 「Minimum-Wage Laws」及び討論
8週目 「Unions and Collective Bargaining」及び討論
9週目 「The Theory of Efficiency Wages」及び討論
10週目 「The Meaning of Money」及び討論
11週目 「The Federal Reserve System」及び討論
12週目 「Banks and the Money Supply」及び討論
13週目 「The Fed ’ s Tools of Monetary Control」及び討論
14週目 「The Classical Theory of Inflation」及び討論
15週目 Review of Key Concepts 及びグループ・ディスカッション
16週目 講義全体に対するフィードバック（テスト返却や講評等）の実施。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う（※16週目の開講は任意とする）。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：本学のEラーニングシステム(manaba・Google Classroom等）を通じて、担当教員が指定する教科書の該当箇所、または事前配布される次回ゼミ資料を精読すること。（必要な予習時間：1時間以上）
復習：復習課題用紙を所定の形式で完成させ、提出期限内に提出すること。（必要な復習時間：1時間以上）

成績評価の方法・基準

本ゼミナールの成績は、予習・復習課題（30%）、ゼミ参加・討論への貢献（40%）、指定テキスト内容に関する報告（30%）を総合して評価する。

履修上の留意点

本ゼミは、原則、対面のみで実施される。
ゼミ中は、携帯電話などの端末機器による通話・写真撮影・SNS(例：Line）等の使用を、事前許可がない限り禁止する。
2回の「遅刻」は1回の「欠席」取扱いとする。
成績評価は、出席率3分の2以上の学生を対象とする。
新聞や雑誌、ウェブサイトなどから日本経済や社会、そして世界情勢に関する記事を日頃からよく読むように心がけること。

課題に対するフィードバックの方法

全ての課題について毎回採点を行い、点数及びコメントを本学のEラーニングシステム(manaba・Google Classroom等）を通じて随時フィードバックする。

テキスト

N・グレゴリー・マンキュー（2025）『マンキュー入門経済学[第4版]』（TKDラーニング/東京化学同人）3,960円

参考書

ポール・クルーグマン（2025）『クルーグマン　入門経済学』（東洋経済新報社）3,740円

更新日付

2026/01/25 12:44